

<p>内容の構成・配列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・配列については、次のような特色がある。</p> <p>第1学年～小学校において学習した、自分のこと、身近な人やものについて紹介したり尋ねたりする活動を1学期に復習することを踏まえ、夏休みの自学用に「夏休み特集」ページを組んでいる。夏休みの絵日記を書いて思い出を伝え合う活動を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第2学年～第1学年において学習した、日常の習慣を表す表現や、今していることを表す表現、また、冬休みや1年間の思い出を伝える内容を扱い、過去のことを表す表現を学習した後に、旅行プランや将来の夢など、未来を表す表現や内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第3学年～第2学年において学習したディスカッションなどの活動を踏まえ、環境問題や防災、平和、国際貢献など、より社会的な話題を扱った後に、ディベートに繋げるなど系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>○ 内容の分量については、各学年とも適切な分量となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」（全学年）や、「Key Sentences・Key Expressions 一覧」（全学年）を設けたり、巻末に「学習を振り返ろう～CAN-DO リスト～」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような特色がある。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 第1学年においては、小学校からの円滑な接続を図るため、「Sounds and Letters」で音と文字のつながりを意識させながら、Unit 1～Unit 4で小学校の学びを発展させる文法事項を扱いつつ、音声から文字へと進展させており、大変よくできている。</p> <p>○ 各Unitの構成は「扉」→「Part1,2」→「Read and Think 1,2」→「Unit Activity」と深化し、気づきを促し、考えを深めるための、工夫された構成・配列になっている。</p> <p>○ 各Unit内でステップを踏んだ段階的な構成を工夫し、学習した内容を使ってのパフォーマンス活動をUnitの最後に配置することで学習の確認と評価ができるようになっている。</p> <p>○ 巻末に「帯活動用 Small Talk 即興で伝え合おう」(全学年)を掲載し、学習した文や表現を使って、「自分のこと」「自分の意見」「自分の気持ち」を即興で伝え合う力を育成するための特集ページとなっている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、これまで指導者用デジタルブックにのみ収録されていた解説動画やアニメ動画を視聴できるようになっている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 英語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	開隆堂(開隆堂)	009-72、009-82、009-92
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～人物紹介やスピーチを聞いたり、ラジオのインタビュー音声を聞き取ったりする。 第2学年～天気予報や、テレビ番組の内容を聞いたり、飛行機のアナウンスを聞き取ったりする。 第3学年～睡眠についてのやり取りやSDGsについてのディスカッションなど社会的な話題について重要な情報を聞き取ったり、ラジオのCMを聞いて必要な情報を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習課題を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～部活動の説明や自己紹介を読んだり、旅行先から送られてきた絵ハガキの内容を読み取ったりする。 第2学年～動物についてのポスターから必要な情報を読み取ったり、メールや物語などのおおまかな内容を読み取ったりする。 第3学年～手話やユニバーサルデザインについての記事を読んだり、フェアトレードについての発表の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと[やりとり]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～新しい仲間について尋ね合ったり、ライブ配信を見ながらその内容を電話で伝えたりする 第2学年～将来なりたい職業について尋ね合ったり、テーマを基に説得力のある主張をしたりする。 第3学年～電車の乗り換えの仕方について尋ね合ったり、SDGsの取り組みについてディスカッションをしたりする。</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～自分自身のことについて発表したり、絵や写真についてスピーチしたりする。 第2学年～外国人に向けておすすめスポットを紹介したり、自分にとってのヒーローを発表する。 第3学年～パラスポーツのポスターをみながらスピーチをしたり、中学校の思い出をまとめて発表したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～自己紹介カードを書いたり、外国人観光客に紹介したい日本食について書いたりする。 第2学年～子供のころの思い出を書いたり、メールで自分の近況報告の文を書いたりする。 第3学年～Webサイトで自分の学校を紹介する文を書いたり、中学校の思い出の原稿を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びに資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～単元を通じた学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、マッピングをもとにスピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～単元を通じた学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチをしたり、スピーチに対する感想を述べ合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～単元を通じた学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スポーツ大会の工夫についてのスピーチのメモについてアドバイスし合ったり、行いたいスポーツについてのルールを書くなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・配列については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介をうまく発表するためのコツを意識して行ったり、友達へのインタビューを踏まえて人物について紹介した後に、夢のロボットや自分が選んだ絵や写真などについてスピーチしたりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～お互いにインタビューをし合ったり、相手にわかりやすいような説明を考えるなどの活動を踏まえ、グループでプレゼンテーションをしたり、グループでチラシやポスターを作ったり交流をするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～これまで学習したプレゼンテーションの仕方を基に、ポスターセッションをした後にグループでディスカッションをしたり、中学校の思い出について原稿を書いて発表したりする内容を扱うなど、統計的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の学習方法を紹介する「この教科書で学ばいなさんへ」（全学年）や辞書の使い方を紹介するページ（全学年）を設け、巻末に DAN・DO リストや Small Talk 表現集を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ すべての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、一人一台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ Get Ready 1～6 で小学校の学びを中学校に生かす工夫が見られる。</p> <p>○ すべての生徒にとって読みやすいフォントとなるような配慮が、配色を用いている。一人一台端末を活用した学習活動として、各単元に二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、AI によるスピーキング評価機能を用いて発音練習を行うことができる。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 英語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	三省堂(三省堂)	015-72、015-82、015-92
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるような特色がある。</p> <p>第1学年～店内放送や競技会場のアナウンス、イベントの案内、映画の予告などの内容を聞き取ったりする。</p> <p>第2学年～空港のアナウンスやボイスメッセージ、ラジオのニュース、インタビューなどの内容を聞き取ったりする。</p> <p>第3学年～電車の運行情報や園内放送、バスのアナウンス、ラジオニュース、注意事項のアナウンスなどの内容を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるような特色がある。</p> <p>第1学年～アメリカの中学校生活や雑誌に掲載されたスポーツの特集記事、防災特集の新聞記事などを読み取ったりする。また、駅の案内図やイベントの案内チラシ、映画館のウェブサイトなどから、必要な情報を読み取ったりする。</p> <p>第2学年～ウェブマガジンの特集記事やメール、新聞記事などから必要な情報を読み取ったりする。</p> <p>第3学年～物語や漫画、ウェブサイトの投稿などの内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるような特色がある。</p> <p>第1学年～得意なことや好きなこと・もの、夏休みにしたいことや、冬休みの思い出などについて尋ね合ったりする。また、道案内やフードコートでの注文をしたりする。</p> <p>第2学年～学校行事やおすすめの間所について尋ね合ったりする。また、買い物や電車での道案内をしたりする。</p> <p>第3学年～行きたい場所や好きな映画について尋ね合ったり、ほしいロボットやおすすめの漫画についてペアやグループで話し合ったりする。</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるような特色がある。</p> <p>第1学年～人気の人物やキャラクター、学校生活や行事を紹介したり、日本の「昔話」を紙芝居にして発表したりする。</p> <p>第2学年～自分の夢についてスピーチしたり、アンケート調査の結果を報告したりする。</p> <p>第3学年～おすすめの旅行プランを提案したり、10年後の自分へのメッセージ動画を作ったりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるような特色がある。</p> <p>第1学年～自己紹介や学校生活や行事の紹介文、思い出の絵日記などを書いたりする。</p> <p>第2学年～日本語の本や物語をおすすめするカードを書いたり、身近な環境問題と解決策をレポートにまとめたり、お土産を紹介するカタログを書いたりする。</p> <p>第3学年～ウェブサイト投稿する意見や商品CMの構成原稿を書いたり、4コマ漫画を英語に翻訳したりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「Project」(単元末活動)において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、What Am I? クイズ大会をして、聞き手を意識しながら、適切に情報を並べることを通し、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「Project」(単元末活動)において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、海外からの観光客のために、テーマを決めて、紹介したいものや訪れてほしい場所を観光マップにまとめるなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「Project」(単元末活動)において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ラジオCMを作ったりするなどグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>	
学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等		

<p>内容の構成・配列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・配列については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した、自己紹介や好きなスポーツや食べ物を尋ね合ったりするなど、自分のことに関するやり取りを踏まえ、学校生活や他の人の紹介、スポーツや災害などの話題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第2学年～第1学年において学習したおすすめの物について紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、将来の夢を紹介したり、環境問題とその解決策をレポートにまとめたり、カタログを作ったりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第3学年～第1、2学年において学習したおすすめを紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、未来の自分へメッセージビデオを撮影したり、ラジオCMを録音したりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>○ 内容の分量については、各学年とも適切な分量となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 4コマ漫画やラジオCM、カタログ等を取り扱っており、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方を紹介する「しくみと学び方」(全学年)や、レッスンとびら(学ぶ目標、学ぶポイント・プロセス)が設けられていたり、巻末に「What can I do?」(Can-Doリスト、全学年)を掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ さまざまなジャンルの題材を取り上げ、説明文、意見文、物語文の3つのテキストタイプをバランスよく配置している。</p> <p>○ 「Goal Activity」では、Part 1～3からつながった場面や状況で、関連した題材について書かれた英文の概要や要点を読み取り、読んで理解したことを身の回りのことと関連させて、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現する工夫が施されている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、録音・再生機能を搭載し、自分の発音をネイティブの音声と比較することができる。また、フラッシュカードやデジタル英単語ドリルが用意されており、語彙の学習に役立つ。</p>

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・配列については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～小学校で学んだ自己紹介や人物紹介をしたり、友達への週末の出来事を尋ねるなどの活動を踏まえ、自分についてスピーチしたり、人物について紹介したりした後に、さらに詳しく理由や好みについて尋ね合ったり、予定について伝えあうなど、系統的・発展的に学習できるような配慮。</p> <p>第2学年～第1学年において学習した旅行の計画について伝え合ったり、予定や計画における情報を理解するなどの活動を踏まえ、自分の思っていることや感じていることを表現する活動の後で、物事を比較したり、自分の主張を裏づけるための理由を添えて具体的に説明するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮。</p> <p>第3学年～第1, 2学年において学習した観光地や日本文化の説明を聞いて内容を把握したり、人や物について説明したりした後に、ディスカッションやディベートをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 全学年の教科書に、英語の学習方法を紹介する「How to Study」や辞書の使い方を紹介する「辞書の使い方」を学年に応じた内容で設けたり、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」重要構文復習リスト、分野別用語集などを掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○ すべての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、ひとり一台端末を活用した学習活動として「学びリンク」(二次元コード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 各レッスンの後の Grammar において、レッスンごとの文法を復習できるよう配慮されている。</p> <p>○ Reading, Further Reading においては、長文読解の力をさらに伸ばすための読み物を掲載し、Tips においては各技能のコツを紹介するなど、多彩な学びのアプローチができるよう配慮されている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書では、再生速度調整機能を用いて自分のペースに合わせた音声を聞くことができる。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 英語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	光村(光村図書)	038-72、038-82、038-92
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～友達の自己紹介やアメリカの高校生活を聞いたり、「Story Retelling」で色々な話を聞いて分かったことを伝えたりする。 第2学年～ラジオニュースを聞いたり、飛行機のアナウンスの内容を聞き取ったりする。 第3学年～視野を広げて、地球規模の問題や現代のテクノロジーに関するさまざまなトピックを聞いて考える。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～友達の自己紹介を読んだり、観光プランを読んだりする。 第2学年～友達の日記を読んだり、有名人のインタビューを読み取ったりする。 第3学年～「AI」が存在する世界特有の課題を読んだり、世界中の不平等と差別の問題について読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと[やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～英語で相槌を打ってみたい、自己紹介や部活について伝えたりする。 第2学年～防災バッグの中身について話し合ったり、即興でやり取りしたりする。 第3学年～これまでに経験したことについて尋ね合ったり、未来の自分に贈る言葉を伝え合ったりする。</p> <p>○ 「話すこと[発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～自己紹介や人物紹介を発表したり、日本の文化を説明したりする。 第2学年～自分の町の観光スポットを発表したり、日本の面白い文化について紹介したりする。 第3学年～行ってみたい国を紹介したり、未来の自分に贈る言葉を発表したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～友達の紹介を書いたり、3 Hint Quiz を考えて書いたりする。 第2学年～読んだ会話に新しい文章を考えて追加したり、自然災害に備えてやらなければならないことを書いたりする。 第3学年～投稿文に対する感想や意見を書いたり、自分の気持ちを伝える手紙を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、そのような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「Here We Go! 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、まず自己紹介から始め、学校生活についての説明に続け、最後に自分の国について考えて伝える。 第2学年～「Here We Go! 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、世界について考えたり、旅行、自然災害、障害などのテーマについてグループで話し合ったり、協力してオリジナルの劇を作る。 第3学年～「Here We Go! 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、世界各地の歴史から学んだ教訓を読んだり、将来の課題について考えたり、それについての自分の意見をグループで話し合う。</p>	
学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等		

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した自己紹介や人物紹介をしたり、友達のできることについて尋ね合ったりするなどの活動を踏まえ、夏休みの予定について伝え合ったり、人について尋ね合ったりした後に、何をしている写真かについて説明する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第2学年～第1学年において学習した過去にしたことについて伝え合ったり、日記からの情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、予定について尋ね合ったり、意見や理由などを述べたりした後に、人や物を比べて説明する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>第3学年～第1、2学年において学習した海外の中学校生活の説明を読んで内容を把握したり、意見を述べ合ったりするなどの活動を踏まえ、経験したことを伝えたり、人や物について説明したりした後に、議論に参加して意見を述べる内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような配慮</p> <p>○ 内容の分量については、各学年とも適切な分量となっている。</p> <p>○ 各教科書は巻末の辞書を含めて175ページとなっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「二次元コード」が示してある箇所には、生徒が学習を進める中で参考となり、さらに興味・関心をもって学ぶことができるアニメーションや映像、音声等を収めている。</p> <p>○ 帯活動で用いる「Let's Talk」が全学年に付帯しており、生徒が身近な話題について即興でやり取りする力を身に着ける配慮がなされている。</p> <p>○ 全学年の教科書の後ろには、「Story Retelling」を支援するためのページが8ページある。各ユニットのストーリーには、役立つ語彙やフレーズが用意されている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 家庭学習で活用できるように、学習に必要な映像や音声などは全て二次元コードからいつでも確認できるようにしている。</p> <p>○ 持続可能な開発目標であるSDGsについては、裏表紙にその意図を記すことで、授業で関連させて扱うことができるようにしています。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 英語

番号 観点	発行者略称	教科書番号
	啓林館（啓林館）	061-72、061-82、061-92
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等 〕	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～自己紹介や人物紹介を聞いたり、ニュースの内容を聞き取ったりする。 第2学年～災害発生時の注意を聞いたり、天気予報の内容を聞いて天気や気温を聞き取ったりする。 第3学年～ラジオ番組を聞いたり、スピーチの内容を聞き取ったりする。</p> <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～自己紹介や冬休みの思い出を読んだり、日本の文化についての文章の内容を読み取ったりする。 第2学年～シンガポール旅行のマナーを読んだり、雪だるまについての文章の内容を読み取ったりする。 第3学年～言語について書かれた文章を読んだり、歴史的な出来事についての文章の内容を読み取ったりする。</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～普段することや好きなものについて尋ね合ったりショッピングモールで注文したりする。 第2学年～昨晚していたことについて尋ね合ったり、やってみたいスポーツを尋ね合ったりする。 第3学年～週末や最近の出来事について尋ね合ったり、乗り物を使った道案内をする。</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～写真を見て何をしているところかを発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする。 第2学年～将来の夢を発表したり、学校や教室でのルールを留学生に説明したりする。 第3学年～自分の住む町の名所・名物を発表したり、外国の人に説明したりする。</p> <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～インタビューを基に人物紹介を書いたり、その日の出来事について日記を書いたりする。 第2学年～おすすめの旅行先を書いたり、日本の習慣やマナーを書いたりする。 第3学年～中学校生活で打ち込んできたことや、投稿文への意見を書いたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、好きな人や尊敬する人を紹介をしたり、紹介文を友達と交換し感想を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、憧れの職業についてスピーチをしたり、スピーチを聞いて質問し合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、15年程度未来のことを書いたり、原稿を交換して読み合いアドバイスをしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列・分量等については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～小学校において学習した名刺を作ったり、小学校の思い出の行事を言ったりするなどの活動を踏まえ、友達や憧れの人のことを紹介したり、過去の出来事について尋ね合ったりした後に、その日の出来事について日記に書く内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年において学習した文を読んで記事の内容を理解したり、説明したりするなどの活動を踏まえ、自分の考えに理由を加えて発表したり、紹介したいものに説明を加えたりした後に、比較して発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第1、2学年において学習した文を読んで講演の内容を理解したり、会話を聞いて内容を理解したりするなどの活動を踏まえ、人や物について情報を加えて説明したり、事実とは違う願望を言ったりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、各学年とも適切な分量となっている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 小学校からの円滑な接続を図るため、Unitの前のLet's Start!で小学校の学びを発展させ、文法事項を取り混ぜながら音声から文字へと進展させる工夫がみられる。</p> <p>○ 第2、3学年ではUnitの最初に写真教材を配置し、学習意欲を高めつつ話題への導入がしやすくなるように工夫がなされている。</p> <p>○ 基本文の応用として口頭練習（ドリル）が掲載され、生徒のコミュニケーション能力定着のための工夫がされている。</p> <p>○ Unitの学習を振り返る「Focus on Form」（全学年）を設けたり、巻末に「Can-Doリスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>